

松保第 2080 号の 2 号

令和 5 年 2 月 22 日

医療政策課長 様

松江市・島根県共同設置松江保健所長

(公 印 省 略)

令和 4 年度 松江地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会

(松江地域医療構想調整会議) の書面による追加審議の結果について (通知)

このことについて、以下のとおり書面審査により承認を得ましたので、別添のとおり圏域意見を提出します。

記

1. 審議事項

地域医療構想の達成に向けた病床の機能のまたは病床数の変更に関する事業
(単独支給給付金) について

2. 圏域意見 別添のとおり

3. 審議結果 (松江地域医療対策会議構成団体の長 30 名に書面審議依頼)

承認 30 不承認 0

〈参考〉 審議事項への質問に対する回答および意見 別紙 1

【担当】

松江市・島根県共同設置松江保健所

医事・難病支援課 吾郷、石倉

TEL:0852-23-1315 FAX: 0852-21-2770

地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更 に関する事業(病床機能再編支援事業)の単独支援給付金支 給事業申請に係る圏域の意見

このたび松江市立病院は、効率的な病院運営を図るため、令和5年度に1病棟(46床)を減少し、R7年度までに新型コロナウイルス感染症専用1病棟(51床)を含む97床の減少を計画している。このうち46床について国の病床機能再編支援事業の単独支援給付金支給事業を申請予定である。

現在、同病院は、一般病床416床、精神科病床50床、感染症病床4床を有し、松江地域医療圏域においては高度急性期から急性期医療を担い、紹介・逆紹介率が向上している。一方で、高度医療の推進に伴い在院日数の短縮により病床利用率が低下し、R3年度には当圏域でともに高度急性期医療を担う松江赤十字病院と連携協定を結び、限られた医療人材や医療機器の効率的配置について検討されている。さらにR4年度には公立病院経営強化プラン策定に向けた検討を行う中で、病床を削減し効率的な人員配置を行い、質の高い医療提供体制をつくる方針を示された。

当圏域の令和4年病床機能報告(概数)における高度急性期病床は489床、急性期病床は917床であり、平成28年10月策定の地域医療構想に示された必要病床数推計値(高度急性期病床212床、急性期病床810床)よりも多い状況である。また、同病院は、病床減少により入院及び外来患者の受入れ抑制はせず、現在の医療提供体制を維持し、引き続き地域医療に貢献することとしている。

よって、当圏域の医療提供体制が縮小することはなく、同病院が効率的な病院運営により質の高い医療提供を行う方針を示されたことについては、当圏域の地域医療構想に合致していることから、今回の病床機能再編支援事業の単独支援給付金支給事業申請は適当であると認める。

審議事項に係る質問、意見に対する回答

質問	内容	松江市立病院 回答
1	給付金が1人1,824千円×90人として、164,160,000円となる。今後、質の高い医療看護が提供されるために必要と考えるが、どうでしょうか。（給付金をどのように有効活用されるか）	<ul style="list-style-type: none"> ・給付金の対象は46病床分であり、9千万円程度になる見込みです。 ・ご指摘のとおり、質の高い医療を提供していくために必要だと考えております。貴重な財源ですので、医師や看護職員など医療人材の確保や医療技術の向上に有効活用いたします。
2	看護師の数ということでは、病床減に伴う、スタッフの採用はどうなるか。病床のため、○：○の配置は必要だと思うが、どう考えているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い医療人材の採用は病院運営の生命線であり、看護師の7対1配置など、これまでの水準で行ってまいります。
3	後期高齢者問題となる2025年、2040年に対応した形なのか、疑問がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・国の松江圏域将来人口推計において、後期高齢者数は2025年に46,626人、2030年に48,948人と増加が予測されていますが、その後は減少に転じ、2040年は47,738人、2045年には46,760人となる見込みです。 ・これまでの約15年間は今後の15年間よりも多いペースで後期高齢者数は増加してはりましたが、高度急性期・急性期を担う当院の患者数は減少傾向であったことや、圏域の他病院や診療所と連携を強化しており、救急対応や急性期患者は当院が受け持ち、さらに地域の医療機関や在宅医療に繋げながら適切に対応していけると考えています。 ・早期から患者の意向を確認し、住み慣れた家や施設での生活に円滑に戻ることができるよう、地域の医療機関や介護関係者の皆様と連携を図りながら支援を行います。

意見	内容	松江保健所 回答
1	<p>松江圏域の必要病床数について</p> <p>地域医療構想での2025年目標病床数については、現在の入院患者の状況からは、達成は困難で、もう少し長いスパンでの新たな目標設定が必要だと考えており、その場合、病床種別ごとの必要数も合わせて検討する必要がある。</p> <p>そのため、松江市内の救急患者を中心的に受け入れている3病院を含む7病院が連携し、機能分担を明確にしながら松江医療圏域における医療需要に適切に対応できるよう、引き続き協議を行っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の地域医療構想調整会議では、病床削減を目標としていないことをお伝えしています。今後も、機能分担による連携を目的とした協議が進むよう努めていきたいと考えています。
2	<p>新興感染症への対応</p> <p>第8次医療計画の検討では、新興感染症への備えとして、流行初期に15,000床の病床確保を目標とし、全国で500施設程度が目安となるとの考えが示されている。</p> <p>今後の各医療機関の病床数を検討する上では、その動きを注視し、柔軟な対応ができるように備えておく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新興感染症への対応をふまえた病床数の確保につきましては、国の動向を踏まえ検討を行っていきます。